



年 組 名前

道新で  
ワークシート

## 優雅にダンス オオハクチョウ 濤沸湖



ダンスのような動きをみせるオオハクチョウ＝7日午前6時40分

【網走、小清水】晩秋の濤沸湖で、渡り鳥の飛来が本格化している。冬の使者オオハクチョウは優雅なダンスを披露し、訪れた人たちの目を楽しませている。ラムサール条約登録地の同湖は、ロシア極東部などからやって来た鳥たちの格好の中継地。7日朝はカモ、ヒシクイなどがのんびり羽を休めていた。「コオ、コオ」というハクチョウの鳴き声が辺りに響き、羽を広げ移動しようとする姿は、まるで踊っているよう。

濤沸湖水鳥・湿地センター（網走）によると、オオハクチョウは例年より1週間以上遅い10月10日に飛来を確認。今月1日の調査で625羽を数えた。渡りのピークは今月半ば過ぎ。2014年に1200羽台のハクチョウの飛来を記録したが、近年は減少傾向にあるという。

同センターは「鳥インフルエンザウイルスの感染防止のため、えさやりしないでほしい」と呼び掛けている。（岩崎勝、写真も）

2018年11月8日朝刊北見・オホーツク版（記事は再編集しています）

①今年11月1日の調査までに、何羽の飛来が確認（かくにん）されたでしょう。

②写真を見て、オオハクチョウが移動（いどう）する姿（すがた）に、「〇〇ダンス」のような名前を付けましょう。  
例）パタパタダンス